

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ルリシジミ	シジミチョウ科	伝統色瑠璃色	○	○	○	本州



生田緑地 5月下旬
随分長時間ねばったがついに羽を開いてくれなかった



生田緑地 6月中旬 ♂
なかなか羽を開いてくれない蝶ではあるが、珍しく開張。
こんなに綺麗なのに出し惜しみしないでほしいと言いた
いところ



生田緑地 6月中旬 ♀
メスは控えめではあるものの上品な色調

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
フジ、クズほか (蕾や花)						4~6			蛹 (さなぎ)		

早春から出現する蝶の一つで、「瑠璃 (るり) 色のシジミチョウ」の瑠璃色とはウィキペディアによると「瑠璃色 (るりいろ) は、やや紫みを帯びた鮮やかな青。名は、半貴石の瑠璃 (ラピスラズリ、英: lapis lazuli) による」とあります。ルネッサンスの頃に青の顔料としてラピスラズリが珍重された話はよく聞きますが、ルリシジミの青はそれより明るい感じがします。

どこにでもいる割には、多くはなく、また羽をなかなか開いてくれないので撮影には苦勞する蝶のひとつ。

近似種スギタニルリシジミは本州の低山地～山地、北海道の平地に分布しますが、ルリシジミに比較すると地味な印象です。



スギタニルリシジミ 相模原市 4月初旬
ギフチョウ撮影の折に水辺にいた。低山地の溪流沿いで見かけることが多い。トチノキなどを食す



生田緑地 6月中旬